

METTS NEWS LETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 2020年度教員採用試験一次結果報告

7月14日に千葉県、東京都、埼玉県、茨城県で教員採用一次試験が行われた結果、本学からは27人が一次試験を受験し14人が二次試験に進みました。関東地区以外では北海道、新潟県、静岡県、沖縄県の一次試験受験者もいましたが、これらの県では採用人数も少ないため残念ながら二次に進むことはできませんでした。METTSでは千葉県、東京都、埼玉県の二次試験に向けての面接練習、千葉県対策としてティーム・ティーチング練習及び模擬授業練習を行い、受験生が万全の準備をして二次試験に臨めるよう支援してきました。この努力の成果は各県とも10月中旬までに発表される予定です。

(単位:人)

	校種ごとの一次試験通過人数			一次 受験者数	一次合格者数
	中高 国語	中高 英語	小学校 全科	合計	合計
千葉県	2	6(4)	1(1)	10(6)	9(5)
東京都	0	4(3)	0	11(4)	4(3)
埼玉県	0	0	0	1(1)	0(0)
茨城県	0	1	0	1	1
その他	0	0	0	4	0
計	2	11(7)	1(1)	27(11)	14(8)

()は卒業者数で内数

なお、埼玉県(中高英語)では一次免除の受験生1人が二次に挑みます。

— 東京都二次(日本語による個人面接及び集団討論)を終えた受験生の感想 —

METTSの先生方からご指導いただいたとおりに二次試験が行われたので、自信をもって話すことができました。事前指導を受けていなかったら、おそらく焦って支離滅裂になっていたと思います。また集団討論においても、他の受験生の発言を活用することができました。集団討論では対策の個人差が明確にできるのだと実感しました。

英語による面接(9月8日実施)では、先ずは自分自身の英語力が問われるので練習どおりにいかないかもしれませんが、試験当日まで英語を聞き、教育関係の語彙を確認して精一杯頑張ります。(2019年3月英米語学科卒業生 佐々木健さん)



二次対策中の受験生と指導にあたる金子義隆准教授



千葉県二次対策と二次試験の感想 -英米語学科4年佐藤みゆきさん-

二次対策としてティーム・ティーチングの練習をしたことは、単に試験対策としてではなく、英語によるコミュニケーション力向上のために役立ちました。

二次試験では”Introducing my hometown”という課題がでました。練習ではこの話題そのものは扱ってはいみませんでした。先ず自分で指導案を考え次にALT役の先生と打ち合わせる。そして2人でモデルを示し、最後に生徒を活動させるといった流れは同じでしたので、その流れに沿って行うことができました。

(左写真はMPPECパトリツィア・ハヤシ教授と佐藤みゆきさん)

横手市立小・中学校外国語研修会報告

明海大学・秋田県横手市の連携協定に基づく事業の一環として、7月29日と30日の2日間、横手市立横手北中学校において「横手市立小・中学校外国語研修会」が開催されました。研修会の講師は、本学教職課程センター・地域学校教育センター石鍋浩教授が務めました。

29日の研修会は、前半が講演「小学校外国語教育（外国語活動・外国語科）における思考力・判断力・表現力等の育成について」、後半がワークショップ『『聞くこと』『話すこと』における効果的な指導法について』でした。約40人の小学校の先生が参加をされており、真剣に講演に耳を傾け、ワークショップでは、積極的に、そして楽しそうに英語を使った言語活動を行っていました。この様子は、翌30日のNHKニュース（秋田版）及び秋田魁新聞で取り上げられました。30日の研修会は、前半が講演「中学校外国語科において実現を目指す『深い学び』とは」、後半がワークショップ『『話すこと（やり取り）』の言語活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育成するための指導法について』でした。約20人の中学校の先生方が参加し、小学校の研修同様に、講演を真剣に聞きっていました。ワークショップでは実際に授業で行うスモール・トーク（教師が英語で行う短い話）を小グループで話し合いながら作り上げ、その後それぞれのグループの代表が特色あるスモール・トークを参加者の前で実演しました。

限られた時間の研修会ではありましたが、参加した先生方の様子から充実した研修会であったことを実感できました。これを機に、明海大学と横手市の連携がさらに発展していくことを願っています。



明海大学・朝日大学共催 2019 英語授業改革セミナー「本気で授業改革！」開催

8月24日、浦安キャンパスにおいて、明海大学・朝日大学共催 2019 英語授業改革セミナー「本気で授業改革！」が開催され、教育関係者や大学生など約100人が参加しました。

基調講演では「令和の時代の英語教育ーグローバルの次の時代に求められるものは」と題して、上智大学特別招聘教授・言語教育研究センター長の吉田研作先生が登壇し、英語をツールとして用いて持続可能な社会ーsustainable societyを実現することが「グローバルの次の時代に求められる英語教育」であるという講義が英語で行われました。



上智大学 吉田研作先生基調講演



続いて、朝日大学法学部の亀谷みゆき准教授、明海大学教職課程センター・地域学校教育センターの百瀬美帆准教授、千葉市立稲毛高校附属中学校の土谷匡教諭がそれぞれ学校段階別（高校、中学・高校、中学）にワークショップを行い、指導アイデアなどを共有しました。参加者からは「非常に参考になり充実したセミナーであった。今後の授業で実践したいと思う」などの感想が寄せられました。（左写真はワークショップBの様子）

アゴラ活用状況（人）	
8月	566
2018年度から の述べ数	19919